

財

〔5年〕

10画
貝貝財財



なりたち 昔の貨幣である貝と、今はわずかでも将来大きな働きをする力を秘めた才との会意形声字。「経済活動の元手となる資金や資産」を表した字。「資産(事業の資本にすること)の出来る、価値のあるもの」。

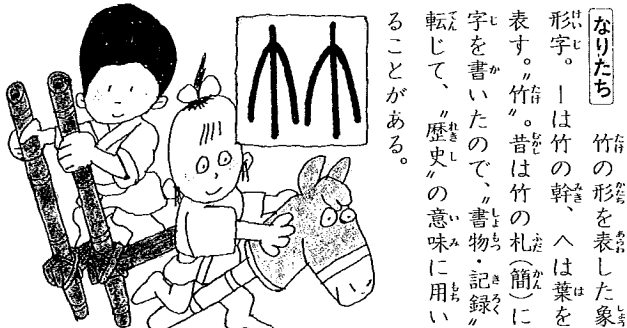
いみじゆくこ
▼ 価値のあるもの。生活の役に立つもの。
財産：①個人や団体が持っている金や物。資産。②例 財産家(財産が多い人) ③ 価値のある大切なもの(たとえ)

用例 健康が第一の財産だ。
財宝：財産や宝物。例 金銀財宝
財貨：金銭と、金に換えられる価値のある品物。財物。
財源：財産を生み出すもと。
また、事業をするための資金の出所。
財政：国家や地方自治体が行うための、収入や支出のやりくり。
蓄財：財産を蓄えること。また、蓄えた財産。
私財：個人の財産。
よみかた 財界 財閥 財布 家財 私財 浄財 文化財

竹

〔1年〕

6画
ノムケヤ竹竹



なりたち 竹の形を表した象形字。「竹」は竹の幹、へは葉を表す。「竹」。昔は竹の札(簡)に字を書いたので、「書物・記録」転じて、「歴史」の意味に用いることがある。

いみじゆくこ
▼ 竹。
竹林：竹藪(詰)。竹がたくさん集まって生えている所。
竹馬：竹製の子供の遊び道具。一本の竹竿(詰)に馬の首形を付けてまたがるもの。また、二本の竹竿に足がかりを付けて乗るもの。例 竹馬の友。(竹馬に乗って遊んだような、幼友達。)

破竹の勢い：圧倒的な勢い。竹は最初の節が割ればあとは簡単に裂けることから。
▼ 竹で作り、吹いて音を出す楽器。
▼ 文字を書く札。また、書いた物。
竹簡：古代中国で文字を書きつけた竹の札。
よみかた 青竹・爆竹
さんこう 特別なよみかた↓
竹刀

在

〔5年〕

6画
一ナナ存在存在



なりたち わずかに地上に芽を表した形の才と、土との会意形声字。「わずかだが確かに土の上にある」ことを表した字。「存在する(ある)」こと。わが国では、「田舎」の意味にも使う。

いみじゆくこ
▼ 在る。存在する。
存在：①実際にそこに在ること。例 問題点が存在する。
②そこに在るもの。何らかの働きを持つものや人。

用例 偉大な存在。
不在：その場に居ないこと。
例 不在投票
潜在：外には現れず、内部に潜んで存在すること。例 潜在意識 反顕在
健在：①健康で丈夫に暮らしていること。②立派に役目を果たして活動していること。
在学：学生や生徒として、学校に籍が在ること。
在任：そこに住んでいること。
▼ 田舎。
在所：①住みか。在りか。② 田舎。故郷。
よみかた 在位・在職・在世・在籍・自在・滞在・駐在

符

〔11年〕

11画
マケヤ符符符符



なりたち 竹と付との会意形声字。紙が無かった昔は竹簡(竹の札)に字を書いた。これを二つに分け、その一つを所有して証拠とした。付け合せて真偽を判断すること。表した字。「割り符」。転じて、広く「印」の意味。

いみじゆくこ
▼ 割り符。
割り符：竹や木の札に文字や印を書いて二つに分け、列別に持ち、後日、付け合わせで証拠とするもの。合い札。
符節：割り符。例 符節を合わせたように(少しの狂いもなくぴったりと)一致する。

符合：(割り符が合うように)ぴったりと合うこと。例 事実と符合する話。
▼ 札。文字や印を書いた札。
切符：①乗車券や入場券など料金払い済みの印の札。
② 品物の受け渡しや配給などの印に使う券。
▼ 印。
護符：神仏の守り札。
符号：文字以外の印。「○」や「×」など。
よみかた 音符・疑問符

竹符



竹符：竹製の子供の遊び道具。一本の竹竿(詰)に馬の首形を付けてまたがるもの。また、二本の竹竿に足がかりを付けて乗るもの。例 竹馬の友。(竹馬に乗って遊んだような、幼友達。)